

令和5年度(第33期)
事業計画及び予算

株式会社 銚子マリーナ

令和5年度（第33期）事業計画

株式会社銚子マリーナ

項 目	内 容
銚子マリーナ 事業計画の概要	<p>当マリーナは、平成11年4月の開業以来、マリーナの利用者をはじめ、当施設や周辺地域を活用した各種イベントなどの展開を通じて、多くの来訪者、市民に親しまれ、本市観光拠点の一つとして重要な役割を果たしてきました。</p> <p>リニューアルオープン以降の保管契約艇数は、平成29年度末まで緩やかではありますが増加傾向にありました。しかし平成30年度末は8艇減の113艇、令和元年度末も増減なしの契約艇数と横這い状態ではありましたが、令和2年度には契約数129艇、令和3年度には契約数141艇と増加傾向にあり、令和4年度におきましても契約艇数151艇とリニューアル前の艇数に近づいております。引き続き集艇活動をしていきます。艇数の増加に伴い安全航行のアナウンス、事故防止につながる機関整備の促進を図ってまいります。</p> <p>令和5年度は、更なる集艇活動の継続、並びに海洋レジャーの啓発に繋がる広告宣伝、若年層へのアプローチ等を積極的に発信してまいります。併せまして、マリーナ利用者の永続的な契約を目指し、安全・安心・快適なマリンライフを念頭に施設及び設備の充実、サービスの向上に取り組んでまいります。</p> <p>マリンレジャーのみならず、総合レクリエーションの場所と同時に観光拠点として関係機関と連携・協力しながら事業を進めてまいります。</p>

令和5年度（第33期）予算

〔令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで〕

株式会社 銚子マリーナ
(単位：円)

勘定科目	金額	備考
売上高	98,443,000	
利用料売上	61,257,000	艇置場利用料・施設利用料・臨時利用料・上下架利用料
その他利用料売上	2,036,000	船台使用料・レンタル艇利用料 ほか
燃料売上	9,550,000	
修理売上	8,200,000	
部品・用品売上	17,400,000	
売上原価	27,232,500	
燃料売上	7,162,500	
修理売上	6,150,000	
部品・用品売上	13,920,000	
売上総利益	71,210,500	
販売促進費計	2,035,000	
交際費	290,000	慶弔費等
広告宣伝費	730,000	雑誌等広告料 ほか
諸会費	295,000	銚子市観光協会年会費、日本マリン事業協会費 ほか
サービス料	600,000	
運送費	120,000	配送料 ほか
人件費計	32,010,000	
給与・諸手当	18,000,000	在籍従業員5名
賞与	5,100,000	
法定福利費	3,900,000	健康保険料、厚生年金保険料、労災保険料 ほか
厚生費	855,000	健康診断・退職保険 ほか
雑給	4,155,000	アルバイト人件費
一般管理費計	37,105,000	
旅費交通費	860,000	
雑費	780,000	官報掲載料、登記手数料、その他事務所維持費
水道光熱費	5,760,000	電気、ガス、上下水道料金
業務委託費	1,000,000	決算申請手数料、弁護士費用 ほか
リースレンタル料	655,000	社用車リース料他
事務用消耗品費	150,000	
消耗工具備品費	1,400,000	
維持管理費	8,100,000	保守管理費、電気保安手数料、巡回・機械警備業務委託費
修繕費	3,400,000	トラベリフトメンテナンス ほか
通信費	1,000,000	電話料、専用回線使用料
保険料	2,010,000	所有物件・船舶保険料、損害賠償保険料 ほか
減価償却費	11,400,000	トラベリフト ほか
図書研修費	250,000	研修費用ほか
租税公課	340,000	印紙税、預金利子税 ほか
経費合計	71,150,000	
営業利益	60,500	
営業外利益		
雑収入	3,800,000	公園管理料他
経常利益	3,860,500	